



# 南平小だより 11月号

学校の教育目標（キーワード）（◎は重点目標）

◎かんがえる子 ○つよい子 ○やさしい子 ○くじけない子



〒191-0041 日野市南平4-18-1 Tel(042)592-2021 Fax(042)592-2022

ホームページ二次元コード

Z51U23.5図工

## 真剣な表情に心を打たれた瞬間

副校長 長塚 淳

副校長の楽しみの一つに、どの児童とも接点をもつことができる点が挙げられます。教室を見回ると、低学年の児童を中心に、子供たちは気さくに話しかけてくれ、こちらを受け入れてくれます。私は嬉しくなってしまう、役に立てることはないかと、手を差し伸べるタイミングを見計らってしまいます。

毎年運動会の時期になると、特に高学年の演技で、サポートの依頼が来ることが多く、それが私の密かな楽しみとなっています。今年の高学年の表現は組体操の要素が入っており、サポートの依頼が来ることを心のどこかで待っていました。

今年の5年生・6年生は、彼らが3年生・4年生だった頃に関わるが多かったため、当時の様子をよく覚えています。3・4年生だった彼らが日に日に成長していく姿を、日常的に見ていましたので、晴れ舞台である運動会で、学校の大黒柱となった彼らの活躍を、自分の目で直接確かめたいとずっと思っていました。

リハーサルの日に、とうとう依頼が来ました。役割は「華」という、「さぼてん」の演技を円形にして組み立てる演技での安全確保と、技を完成させるためのコツを伝えることの2つでした。指定されたのは6年生男子のグループ1か所で、まだ「華」が未完成とのことでした。

練習が始まり待機していると、中盤に差ししかかって「華」が始まりました。技の成功に何が足りないのか見極めようと近づいた私は、見極めるところか、逆に圧倒されてしまいました。何に圧倒されたのか、それは、彼らの鬼気迫る表情でした。「乗り終わった。」「あとちょっと。」「腰を低く。」など、お互いに声をかけ合って、自分達の状況を探っています。演技中ですので、互いの様子を見合うことはできません。まさに自分の持ち場を守り、心を一つにしようとしている姿でした。どの児童も、見合うことのできない相手を思いやりながら精一杯動いています。あと1か所上がれば円形が完成し、「華」を完成させることができる、というタイミングで、その1か所が崩れてしまいました。曲も次の展開に入ってしまう、その場で再チャレンジすることはできませんでした。背を向け合って円形を組み立てていた彼らは、自分達の「華」が成功したかどうか分からないまま、次の演技の持ち場へと散らばっていました。

友達のため、全体のため、そして自分のために成功させなければいけない、という共通の思いの中で、一期一会となる演技の難しさを、誰よりも理解しているからこそ、彼らの表情は鬼気迫るものだったのです。幼さの残っていた4年生の頃からの内面の成長を感じ、感動せずにはいられませんでした。

その後のリハーサルで、通し練習が始まりました。彼らにとって最後のチャンス。彼らは「華」を成功させようと意気込んでいました。そして最後の最後、「華」は成功しました。成功したことを察知した彼らですが、喜びを飲み込んで、次の持ち場に散らばっていきました。

演技の美しさの背後にある、一人一人の心から真剣な姿は、成功や失敗をはるかに超えた価値に気付かせてくれるものです。これは、集団生活を行う学校で生み出すことができる、貴重な価値の一つなのではないでしょうか。